技術科【第１学年】年間指導・評価計画

府中市立府中第五中学校

1 各学年・各分野の学習目標

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指導内容および評価規準

(1) 材料と加工に関する技術

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7 9 10 11 12	・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料と加工の技術の概念を理解している。 	・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 ・材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。

(2) 情報の技術

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2 3	・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解している。	・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。